

iPadを使用した撮影者の違いが 学習効果に及ぼす影響

飯田智行（初等教育学科）

Effects of shoot person using iPad on the learning effect

Tomoyuki Iida (Department of Elementary Education)

抄 録

本研究は、iPadを使用した動画撮影者の違いが意欲や技術などの学習効果に及ぼす影響を明らかにすることを目的とした。逆上がりができない大学生40名を対象とした。被験者2人組で、それぞれ逆上がりを5回ずつ行い、iPadを使用し逆上がりの動作を撮影した。被験者同士で撮影し合う群（学習者群）と研究者が撮影する群（指導者群）に分けて実験を行った。各群それぞれ撮影した動画をフィードバックし、被験者同士で5分以内のディスカッション、その後、再度5回逆上がりを行わせた。さらに、実験終了後にアンケートを実施し、学習効果の比較検討を行った。その結果、指導者群は、「技術上達を実感した」「フィードバック映像が役に立った」という回答が多かった。また、学習者群は、「意欲的に活動に取り組めた」という回答が多かった。

以上のことから、指導者が提示する動画は技術向上や運動イメージ把握を促す可能性があり、学習者同士の撮影は関心・意欲の向上に寄与することが明らかになった。

キーワード：iPad、動画、撮影者、学習効果、体育